2021.7.18

7/24 第 23 回働学研（博論・本つくり）研究会のお知らせ①

十名　直喜

東北、関東甲信越に続き、関西も梅雨明け寸前。一気に猛暑がやって来たようです。コロナ禍の第 5 波も懸念されるこの頃ですが、お元気でしょうか。

7/24 第 23 回働学研プログラムを見直しましたので、最新版をお送りします。

第 1 分科会の 1 本（三輪「CSR とエシカル消費」）が、カットになります。急用が入ったためです。これを機に、（池上惇米寿お祝い）特別企画「池上先生との交流や思い出を語り合う会」を入れます。参加者が自由に語っていただければと思います。米寿お祝いメッセージ集にまとめることができればと思います。

第 1 分科会（2 本）は、家族・消費・生産教育をテーマに「直接的生命の生産と再生産」（エンゲルス）に現代的な視点から切り込むことができればと思います。

第 2 分科会（3 本）は、環境行政と環境教育について深めたいと思っています。青・老の視点から、大都市圏の環境政策に迫ります。環境行政 30 数年で培われた知見と視座は何か。

特別企画（参加者座談会）は、池上先生の米寿お祝い企画として「交流と思い出を語り合う会」を企画したものです。

興味深い発表と議論を楽しみにしています。

7/24 第 23 回　働学研プログラム

発表 15 分＋議論 15 分＝30 分/本：計 180 分、司会:十名、画面:澤

第 1 分科会　「生命の生産と再生産」（エンゲルス）への現代的眼差し　14:00〜15:00

横田幸子：「人類進化と家族」序章 4　家族進化論をめぐる論点とその変遷」

片山勝己：「企業内学校論の体系化に向けて　―博論化構想メモ」

＊三輪昭子「「CSR とエシカル消費」―博論に向けて」は、カット。急用により、次回へ。

第 2 分科会　環境行政＆環境教育への働学研アプローチ　15:00〜16:30

程　遠紅：「博論第 6 章　中国における環境教育の現状と課題」

濱　真理：「基礎自治体の廃棄物・環境行政」（大阪市役所 33 年体験をふまえて）

藤井敏夫：「コメント　―物質循環論等からの眼差し」（愛知県環境行政 30 年をふまえて）

特別企画　16:30〜17:00

参加者座談会：「池上先生との交流や思い出を語り合う会」

なお、働学研編「池上惇先生米寿お祝いメッセージ集」をまとめたく思います。「寄稿のお願い」も添付しています。奮って応募していただきたく存じます。

いただいた順番を大切にして、編集していきたく思っています。どうかよろしくお願いします。

なお、30 分/本を予定しています。発表＆議論の時間振り分けは、伸縮自在。これまでより、少し落ち着いて議論できるでしょう。

参加のお知らせは、下記の 21 名からいただいています。

（敬称略）太田、小野、岡崎、片山、金井、聴濤、木林、澤、槌田、程、中谷、中野、波多野、濱、平松、藤井、藤岡、松浦、横田、吉田、十名

初参加の方には、自己紹介（1-2 分）もお願いできればと思っています。

7/24 働学研より、画面操作は専門家の澤さんにお願いしています。サービスアップにご期待ください。

ご参加の方は、十名（tona@iris.eonet.ne.jp）までお知らせください。お待ちしています。

よろしくお願いします。お大事に。（十名）